

## P1-4-04 「和食だし体験講座」が小学生高学年の食行動に及ぼす影響

◎濱口郁枝<sup>1)</sup>, 大石ひとみ<sup>2)</sup>, 山田幸二郎<sup>2)</sup>, 菊池陽子<sup>2)</sup>, 山本勝巳<sup>2)</sup>, 廣瀬頼子<sup>2)</sup>, 北村衣江<sup>2)</sup>  
 1)甲南女子大学 2)大阪ガスネットワーク株式会社

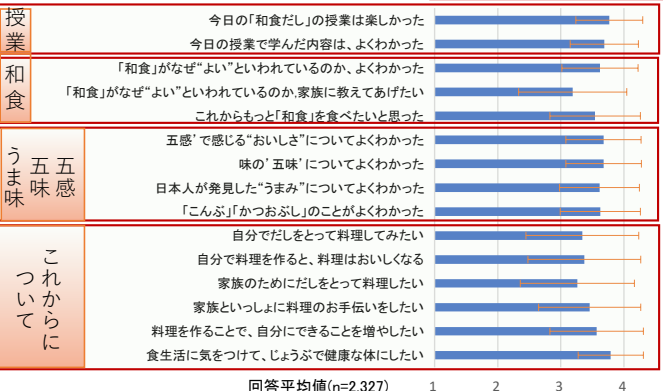
**目的:** 大阪ガスネットワーク株式会社は、和食の魅力を次世代に伝承することを目的とする「和食だし体験講座」を2017年から実施。同講座が食行動に及ぼす効果について検証する。

**方法:** 2020年9月～2021年3月に「和食だし体験講座」を受講した近畿2府3県の小学5・6年生を対象にアンケート調査を実施。  
 ●調査① 受講直後(有効回答2,327名,85.1%) (4件法)  
 ●調査② 1～2か月後(有効回答446名,16.3%)



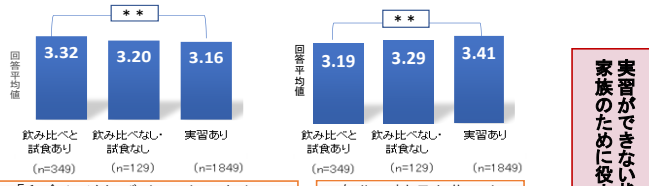
### 結果1: 調査①回答平均値

楽しく学び、うま味などを理解し家で作りたいと感じる。



### 結果2: 調査①授業形態による比較

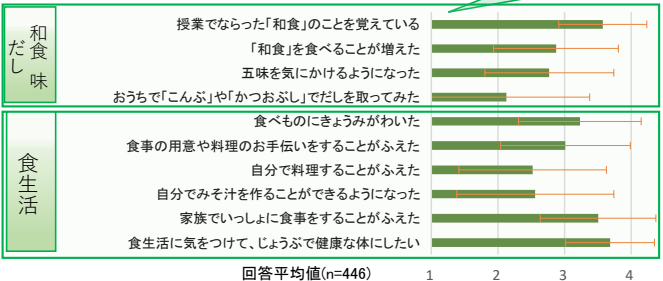
★新型コロナウイルス感染症の状況により内容に対応  
 ①用意した、だしの飲み比べ、試食あり【講義あり】  
 試食した料理に対する感想が多い  
 ②飲み比べと試食なし【講義あり・動画で料理を解説】  
 「家族にだしを作って食べてもらいたい」「お手伝いがしたくなった」「家族でつくってみたい」などの感想が多い  
 ③実習あり【講義あり】  
 実際に作ったことや味わった感想が多い



実習ができない状況であっても、受講内容を家族のために役立てたいという意欲が強い。

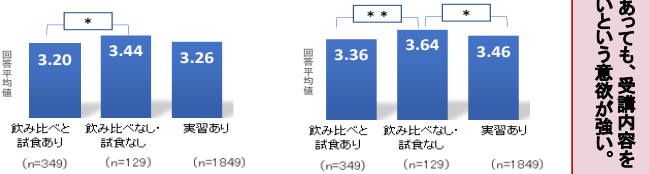
### 結果3: 調査②回答平均値

覚えている人が多い。



「和食」がなぜ「よい」といわれているのか家族に教えてあげたい

自分で料理を作ると料理はおいしくなる



家族のためにだしをとって料理したい

家族といっしょに料理のお手伝いをしたい

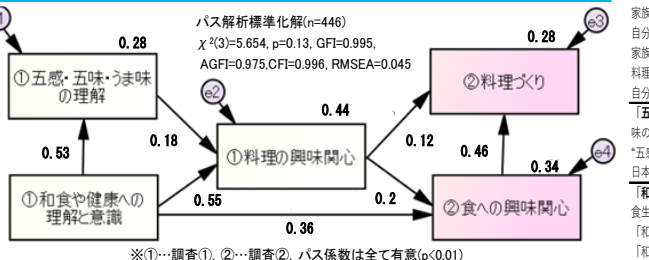
分散分析, 多重比較Tukey HSD, \*\*p<0.01, \*p<0.05

### 結果4: 調査①②因子分析

調査①	因子1	因子2	因子3	調査②	因子1	因子2	
「料理の興味関心」5項目, Cronbachのα=0.857	0.910	0.042	-0.143	「食への興味関心」6項目, Cronbachのα=0.755	0.706	-0.012	
	0.174	0.055	-0.019		0.670	0.049	
	0.692	-0.001	0.049		0.596	0.111	
	0.577	-0.030	0.260		0.595	-0.117	
	0.428	-0.010	0.268		0.479	0.013	
「五味・五味・うま味の理解」3項目, Cronbachのα=0.801	0.020	0.809	-0.005	「料理づくり」4項目, Cronbachのα=0.769	0.097	0.465	
	-0.001	0.778	-0.019		0.291	0.430	
	0.072	0.649	0.000		0.416	0.039	
「和食や健康への理解と意識」6項目, Cronbachのα=0.769	0.020	-0.072	0.663	「食への興味関心」6項目, Cronbachのα=0.755	-0.047	0.873	
	-0.210	0.234	0.594		-0.101	0.817	
	0.129	0.009	0.579		0.097	0.465	
	0.184	-0.124	0.504		0.291	0.430	
	0.127	0.113	0.459		0.097	0.465	
今日の「和食だし」の授業は楽しかった	0.053	0.239	0.336	今日の「和食だし」の授業は楽しかった	0.053	0.239	0.336

変数(質問)を潜在変数(因子)に要約するために因子分析を行った。調査①で3つ、調査②で2つの因子が抽出された。

### 結果5: 講座が食への興味関心、料理づくりに及ぼす影響



「①和食や健康への理解と意識」は「①五感・五味・うま味の理解」「①料理の興味関心」を促進し、「②食への興味関心」「②料理づくり」に関連。

**結論:** コロナ禍により実習ができない状況であっても「和食だし体験講座」を受講することにより、「家族のためにだしをとって料理したい」などの意欲が高まった。さらに、食の興味関心を促進し、だしを取るなど料理づくりに対する行動変容につながる事が示唆された。